

主題：神の奥義の執事

メッセージ 25

キリストの配偶者としての召会——エバの予表（2）

聖書：創 2:18-24. エペソ 5:23-32. ヨハネ 3:29. 啓 22:17

I. 聖書における最初の夫婦であるアダムとエバは、キリストと召会の意義深い、完全な絵を提示します——創 2:23：

A. 神は同時に、同じ方法で、男と女を創造することはしませんでした：

1. 神は土のちりから人の体を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれました。すると人は生きた魂となりました——7節。
2. アダムが眠っていた間、主はアダムのあばら骨を取り出し、それを用いて一人の女を建造しました——21-22節。

B. 命、性質、形において女は男と同じでした。ですから、神が女をアダムの所に連れて来られた時、アダムは叫びました、「今度こそ、これがわたしの骨の骨、わたしの肉の肉である」（23節前半）。アダムはついに自分の配偶者を見いだしたことを知りました（23節後半）。

II. キリストの配偶者としての召会は、アダムの配偶者としてのエバによって予表されています——18-24節. エペソ 5:23-32：

A. エバはアダムの一部分でした——創 2:23 前半：

1. 予表において、このことが示しているのは、召会はキリストの一部分であり、召会はキリストご自身にほかならないということです——I コリント 12:12。
2. キリストの配偶者である召会は、信者たちの中にあるキリストの要素です——コロサイ 1:27. 3:4, 10-11：

a. 召会はさまざまな人種、国籍、文化から成る人々の構成体ではありません。そうではなく、召会はすべての信者の中におられるキリストの総合計です——ローマ 8:10. ガラテヤ 2:20. 4:19。

b. わたしたちは再生された人ですが、もし天然に人にしたがって行き、行動するなら、実際においてキリストの肢体、すなわち彼の配偶者の一部分ではありません——I コリント 2:14-16. II コリント 11:2-3：

(1). キリストの肢体は、わたしたちの霊の中におられる命を与える霊であるキリストの要素をもって生み出された人です——I コリント 15:45 後半. 6:17。

(2). 命を与える霊として信者たちの中に住んでいるキリストが共に加えられたとき、その合計は召会、すなわちキリストの配偶者に等しいのです。彼の配偶者は実はキリストご自身の一部分です——12:12。

B. エバはアダムの一部分でした。なぜなら、彼女はアダムから出て来たから

です——創 2:22 前半 :

1. キリストの配偶者としての召会は、キリストの一部です。なぜなら、召会はキリストから出て来たからです——ヨハネ 19:31-33, 36。
2. 創世記第 2 章 21 節におけるあばら骨は、主の復活の命、すなわちキリストの砕かれない、不朽の、永遠の命の予表です——ヘブル 7:16. ヨハネ 11:25 :

- a. この命は彼の突き刺された脇から流れ出て、彼の信者たちに命を分け与え、彼の配偶者としての召会を生み出し、建造しました—— 19:34。
- b. この砕かれない復活の命は霊のエバ、すなわちキリストに符合する霊の妻を生み出すためです——啓 19:7. 21:9-10。

C. エバはアダムから出て来た後、アダムの所に戻りました——創 2:22 後半 :

1. これが示しているのは、召会はキリストの一部であり、キリストから出て来て、キリストに戻るということです——エペソ 5:27。
2. キリストから出て来たものだけが、キリストによって認識され、キリストに戻り、彼に符合することができます。キリストの復活の命から出て来たものだけが、キリストの配偶者となることができます—— 25, 30 節。

D. エバはアダムから取られ、アダムの所に戻りました。それは彼ら二人が一つの肉体となるためでした——創 2:24 :

1. これは、夫としてのキリストにある神と、彼の配偶者としての彼の贖われた民が結合して一になるという型です——啓 22:17。
2. 予表において、アダムとエバは一つの肉体となりました。実際において、キリストと召会是一个霊となります。なぜなら、主に結合される者は、主と一个霊になるからです—— I コリント 6:17。
3. アダムとエバは共に完全な単位となりました。同じ原則で、キリストと召会も完全な単位となります——エペソ 5:32。

E. エバはアダムと同じ命と性質を所有していました——創 2:21-22 :

1. これは、召会がキリストと同じ命と性質を持っていることを表徴します——コロサイ 3:4. II ペテロ 1:4。
2. キリストの配偶者としてキリストと符合するために、わたしたちは命、性質においてキリストと一となる必要があります。これが意味するのは、キリストと召会が一つの単位として、同じ命と性質を持っているということです——ヨハネ 3:15, 29. II ペテロ 1:4。
3. 召会はキリストの配偶者であるので、召会を構成するわたしたちは、キリストを命として経験し、彼の神聖な性質にあずかる必要があります——コロサイ 3:4, 10-11. II ペテロ 1:4。

F. エバにはアダムのかたちと身の丈がありました——創 1:26. 5:1-2 :

1. これは、召会がキリストと同じかたちを帯びていることを示しています

——コロサイ 3:10。

2. エバが身の丈においてアダムとほとんど同じであったという事実は、召会がキリストと同じ身の丈を持つべきであるということを示しています
——エペソ 4:13。

3. キリストの配偶者となるために、わたしたちはキリストのかたちへと造り変えられ、完全に成長して、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達します——II コリント 3:18. エペソ 4:13。

G. エバはアダムの配偶者、補完であって彼に符合しました——創 2:18-20 :

1. これが表徴するのは、神聖な命(ヨハネ 19:34)を解き放つキリストの死の結果 (ヨハネ 19:34)、彼がご自身に符合する配偶者としての召会を獲得したということです ——エペソ 5:27, 30, 32。

2. 今や神はもはや独りではありません。なぜなら、キリストはご自身に符合する配偶者を獲得したからです——ヨハネ 3:29. 啓 19:7. 21:9-10。